

だいち通信 VOL. 67



〒080-0016 帯広市西6条南6丁目3番地ソナビル2F TEL (0155)-24-8989 FAX(0155)-20-7367
E-mail shien-daichi@ymail.plala.or.jp URL http://www.keisei-kai.jp/daichi/

新年度あいさつ

新年度を迎え1ヶ月が経ちました。書面でご挨拶とさせていただき、ご挨拶が遅れてしまったことをお詫び申し上げます。今年度も引き続きよろしくお祈り致します。

コロナ禍の約3年半は、皆様同様、我々にとっても試練の時となりましたが、同時に様々な学びと気づきを与えてくれました。コロナ禍を乗り越え明るい兆しが見えてきた点では、当センターの職員も希望に胸を膨らませながら業務を行う事が出来そうです。一方で、継続している課題や新たに見えてきた改善点にも、今一度身を引き締め、解決方法を模索していきます。

また、情報過多の今の時代だからこそ、何気なく見聞きしていても、実は共通言語となっていない言葉の本当の意味を皆様とともに考え、共通認識を持ちながら進めてまいりたいと考えます。正確な知識を蓄え、正しい理解へとつなげ、活用できる技術を身につけ、様々な実践に活かせる様に地域の皆様と協同し、就労支援のさらなる活性化に向けて、微力ではありますが取り組んで参ります。今年度の主な活動内容については、是非通信をご覧くださいいただけます。今後ともよろしくお願いいたします。

センター長 新明 雅之

令和4年度 実績報告 ～毎年、報告している年間の実績数をお知らせします～

当センターでは、初めてお受けした相談内容を基に、継続的な相談の見通しとなった方を年度の新規登録者としています。今年度は78名の登録となりましたが、初回の情報提供のみで終了した方やすぐに関係機関につないだ方からの相談を含めると、年間100名以上のお問い合わせがある状況です。また、数年ぶりに相談がしたいと連絡をくださる方も増加した1年でした。就職件数は昨年度と同様ですが、就労系福祉サービス事業所からの就職者は減少しています。一方、就労系福祉サービス事業所からの職業評価や実習あっせんの依頼が増えており、就職準備に向けて関係機関との連携が図られた年となりました。

支援対象登録者数	身体	知的	精神	その他	合計
	10 (1)	224 (38)	168 (26)	65 (13)	467
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	(78)
	49 (9)	2 (1)	5 (0)	9 (3)	

就職件数	身体	知的	精神	その他	合計
	0	30	16	8	54
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	7	0	1	0	

相談支援件数	身体	知的	精神	その他	合計
	90	3,751	3,978	1,380	9,199
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	1,124	52	78	126	

職場実習幹旋件数	身体	知的	精神	その他	合計
	0	46	26	15	87
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	14	1	0	0	

<2023年度 スタッフ体制>

センター長	新明 雅之	主任職場定着支援担当者配置
地域就労支援係長	佐藤 尚美	主任就業支援担当者配置
就業支援担当者	荻原 卓也	
	高須 久美	法人内他部署より配置転換
	福山 雫	
生活支援担当者	後藤 友美	ジョブコーチ兼務
	佐藤 朱莉	
	エッシー 朋子	新規入職

十勝管内福祉サービスの皆様へ『資源マップ』の作成と更新のお願い

例年、就労系障がい福祉サービス（移行・A型・B型）と地域活動支援センターの皆様へ、資源マップ作成・更新のご協力依頼をさせていただいております。地域の情報を見える化し、相談者の方や関係機関の皆様にご活用いただけるよう、引き続き更新のお声掛けをさせていただきます。今後ともご協力をお願いいたします。

新職員の挨拶

高須 久美

4月1日付で配置転換になりました。以前は同法人内の帯広市自立相談支援センターふらっとに勤務し、生活困窮者支援を行っていました。だいちでは就労支援ワーカーとして勤務させていただきます。不慣れな事 知識不足な事が多いので、1つずつ覚えて皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、宜しくお願いいたします。

新職員の挨拶

エッシー 朋子

5月1日に入職いたしました。芽室町で生まれ育ちましたが、30年ほど離れたのち5年前に帰郷しました。道民ビギナーになってしまいましたが、北海道弁を早くマスターし、お一人おひとりしっかりと向き合い丁寧な相談を心がけ、一日でも早く皆さまのお力になれるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度 研修等の報告

対象	研修名	回数	内容
障がい当事者対象	社会人研修	集合2回 リモート1回	・第1回目：6月7日（16名参加）「社会人スキルアップ研修～社会人としての常識を学ぼう～」 ・第2回目：11月29日、12月2日（19名参加）「社会人フォローアップ研修～コミュニケーションの実践～」
	課題別研修	集合2回 リモート1回	・第1回目…8月26日（21名参加）「日常を振り返り こころの健康について考えよう!!」 ・第2回目…2月22日・3月3日（26名参加）「アングーマネジメント～怒りの感情をコントロールしよう～」 「感情のコントロール～怒りの裏にあるもの～」
	ピアサポート研修	集合11回	働く大人のための意見交換会『Caféスタイル』…毎月第3土曜日に定期実施、毎回10名前後の方々が参加されています。参加者が決めたテーマで行うグループワークでは“LINEのルール”や“関係性の出来ていない人との適切な距離感・マナー”等が話し合われました。余暇の充実に加え、働く上での悩み事を共有することでスキルアップを目指す場にもなっています。
企業対象	就労準備研修	計13回	・仕事の魅力発見フェス…7月17日（75名参加）企業説明・仕事の体験会を実施しました。 ・企業見学会…8月29日～12月5日（44名参加）職場環境を体感できる機会として提供しました。 ・模擬面接会…9月27日（16名参加）企業の採用担当者が面接官として対応していただきました。 ・就職準備セミナー…3月23日（3名）職業評価とグループワークを行いました。
	雇用促進・就労定着プロジェクト	計12回	4本の柱（情報発信・教育・提言・組織拡大）を軸に活動を実施。十勝管内19社が参加。仕事の魅力発見フェス、プロジェクトスタイル実習（10名参加）の企画と実施、雇用事例集の作成、研修への講師派遣等、幅広く活動を行いました。
関係機関対象	帯広市自立支援協議会就労・社会活動部会及び地域就労支援連絡会議	ハイブリッド1回 集合1回	・8月31日…84名参加。十勝管内の障がい者雇用状況を共有し、帯広市の「障害者雇用促進事業」が周知されました。ジョブマッチングやアセスメントに関する講演を実施しました。 ・2月22日…78名参加。就労系福祉サービス利用中・企業就労中の当事者ご本人からの経験談の発表、支援員や企業担当者によるパネルディスカッション、参加者によるグループワークを行いました。
	就労移行支援事業所連絡会		全11回実施。参加事業所が担当制で運営し、アセスメント方法の情報共有やハローワークからの制度説明と意見交換、企業見学等を行いました。
	就労系福祉サービス事業所検討会	22回開催 (集合・リモート)	全9回実施(述べ30名参加)。十勝管内の就労系福祉サービス事業所の職員を中心に、相談支援専門員や行政職員等幅広く参加。事例検討と就労支援にまつわる悩みについて意見交換を実施しました。
	就労支援担当者スキルアップ研修		就労支援スキルアップ研修…8月30日・31日に実施(16名参加)。就労支援に関するアセスメントの考え方とアセスメントツールに関する講義を受け、実際に体験する機会として実施しました。
	行政福祉担当者情報交換会	1月24日(22名参加)	十勝管内19市町村の行政福祉担当者と地域課題・今後の取り組みの意見交換会を実施しました。
移動相談		各町村から依頼を受け、各地域へ訪問し就労相談を実施しました(43件)。	

令和4年度の総括と令和5年度の目標

令和4年度の取り組み

- ・帯広市障がい者雇用促進事業
- ・ハローワークの障がい者雇用0人企業への訪問同行
- ・福祉サービスとの連携による就職者の促進

障がい者雇用事例集を作成

- ・企業向け6社
- ・求職者向け9社

当センターホームページにて随時更新中

課題

- ・障がい者雇用納付金対象外の100名以下の企業の雇用への意識の薄さ
- ・福祉サービス事業所からの就職者の減少

令和5年度の目標

- ・障がい者雇用促進事業による雇用企業の拡大
- ・雇用事例集の充実
- ・福祉サービス事業所との就職連携

令和6年4月の障がい者雇用法定雇用率の引き上げに向けて

国が示しているセンター概念図の「ハブ機能」「基幹型」として、今まで以上に地域作りを意識した取り組み内容にしています。大きな地域課題となっている「企業の人材不足」への対応、「障がいのある方の多様な働き方」の実現に向け、就労相談・雇用相談をはじめ様々な対応を、地域の皆様との連携のもと運営していくことが目標です。

関係機関支援

関係機関が就労相談の窓口となるスキルを身につけてもらうための支援

限られた資源を有効活用し、町村独自の支援体制づくり、地域システムの検討を進める

就労支援のスキル向上

福祉サービスからの求職者に関わりながら、就労支援のプロセス・就労準備訓練・アセスメントを福祉サービスと共同で行う

地域診断

地域の実態やニーズを把握し、課題を整理する